

# 洞爺湖町 議会だより

No.76 令和7年1月会議・令和7年3月会議  
2025.5



～月浦から見た有珠山とキンクロハジロ～



キンクロハジロ（カモ科）

名前の由来である金色の目、背中の黒い色と翼の白い帯が特徴のカモの仲間。

洞爺湖には冬に訪れ春頃まで見ることができます。

## 主な内容

- P 2～ 3 令和7年1月会議  
令和7年3月会議 審議内容
- P 4 予算特別委員会報告
- P 5～11 一般質問7名登壇
- P12～13 常任委員会レポート
- P14 議会のうごき・編集後記

## 令和7年 1月会議

1月会議が1月17日に開会し、補正予算1件を原案のとおり可決しました。

### 【主な議案の審議内容】

#### 補正予算

○一般会計（第6号）  
歳入歳出をそれぞれ  
1億3899万円の増額。

（主なもの）

- ・特定目的基金積立金 1000万円
- ・ふるさと納税推進事業 1250万円
- ・プレミアム地域通貨発行事業 4442万円
- ・低所得世帯支援給付金事業 6409万円
- ・障がい児給付費扶助 665万円
- ・育英資金等教育振興基金積立金 250万円
- ・予備費 △166万円

## 令和7年 3月会議

3月会議が3月5日から13日まで開会し、町政執行方針教育行政執行方針の各説明を受け、令和7年度の一般会計特別会計、公営企業会計を含めた総額128億7729万円の予算案が提案され、予算審査特別委員会に付託し、審議の結果、全て原案どおり可決しました。

一般議案については、人事案件10件、条例の制定、改正整理等14件、町道の廃止1件補正予算など8件を原案どおり可決し、議員提案の意見書1件が否決となりました。  
また、7名の議員が町行政への一般質問を行いました。

### 【主な議案の審議内容】

#### 人事案件

○農業委員会委員の任命同意  
※年齢は令和7年3月5日現在

青山 晴重氏（74歳 月浦）  
吉田 新一氏（64歳 花和）  
田中 恭一氏（62歳 花和）  
佐々木哲三氏（57歳 財田）  
佐伯 昌彦氏（69歳 洞爺町）  
丸田 学氏（51歳 成香）  
菊地 哲也氏（51歳 成香）  
曾川 泰寛氏（60歳 香川）  
西岡 正雄氏（61歳 香川）  
宮本 好氏（41歳 洞爺町）

#### 条例改正

○洞爺湖町デマンド交通運行条例の制定

洞爺地区のコミュニティタクシー及びとうやコネクトタクシーの本格運行開始に伴う運行条例の制定及び洞爺湖町営バス運行条例の廃止。

○洞爺湖町特別職報酬等審議会条例の制定

経済情勢や景気の動向などを踏まえた特別職の給与及び議員報酬額について妥当性等を審議するための審議会の設置。

額及び議員報酬額について妥当性等を審議するための審議会の設置。

○洞爺湖町いじめ問題対策連絡協議会、洞爺湖町いじめ重大事態調査委員会及び洞爺湖町いじめ再調査委員会条例の制定

国の基本方針に基づき、子供に対するいじめの未然防止及びいじめ防止対策推進法の規定による重大事態に適切に対処するための条例の制定。

○洞爺湖町の休日定める条例の一部改正に伴う関係条例の整理

町の公共施設を含む年末年始の休日について「12月29日」から「翌年1月3日」までとする条例の一部改正及びそれに付随する関係条文の整理。

○刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理

刑法等の一部改正（懲役及び禁錮の廃止、拘禁刑の創設）に伴う条文の整理。

○洞爺湖町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴う各種手当、給付対象範囲等の条例の一部改正。

○洞爺湖町特定教育保育・施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の省例「子ども・子育て支援法」特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」等の一部改正に伴う所要の改正。

○洞爺湖町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の省例「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」等の一部改正に伴う所要の改正。

○洞爺湖町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の省例「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」等の一部改正に伴う所要の改正。

○洞爺湖町長寿祝い金条例の一部改正

加速化する人口減少及び少子高齢化などの社会構造の変化等の背景を踏まえた、長寿祝い金事業の見直しに伴う条例の一部改正。

○洞爺湖町配食サービス事業に関する条例の廃止

配食サービスの事業の民間事業者の対象エリア拡大、利用者の減少等の理由による事業廃止に伴う条例の廃止。

○洞爺湖町国民健康保険税条例の一部改正

「国民健康保険法施行令」の国民健康保険税賦課限度額等の一部改正に伴う所要の改正。

○洞爺湖町公園条例の一部改正

「えぼし岩公園」用途廃止に伴う条例の一部改正。

○洞爺湖町立学校設置条例の一部改正

虻田中学校を、虻田小学校内への移転(令和8年度)に伴う、位置(所在地)の改正。

町道の廃止

○岩屋2号線(延長100.32m)の廃止。

補正予算

○一般会計補正予算

歳入歳出予算、それぞれ9367万円の減額(主なもの)

・総務費 8962万円の増  
公有財産管理事業  
△919万円

基金管理事業(積立金)  
12609万円  
地域公共交通対策事業  
△512万円

移住・定住促進事業  
△1640万円 など  
・民生費 5333万円の減  
定額減税調整給付金事業  
△2400万円

老人福祉施設入所事業  
△870万円  
心身障害者援助事業  
1238万円

介護保険特別会計繰出金  
事業  
△629万円

常設保育所運営事業

△1079万円 など

・衛生費 3513万円の減  
水道事業簡易水道事業会計補助金

△650万円  
予防接種事業

△1155万円

清掃管理事業(西いぶり広域連合負担金等)

△564万円 など

・労働費 200万円の減  
・農林水産業費 642万円の減

国営大原地区畑地かんがい維持管理事業  
△249万円

水産振興対策事業  
△249万円 など  
・商工費 483万円の減  
商工管理事務事業

△308万円  
観光振興対策事業  
△160万円 など

・土木費 358万円の増  
虻田地区道路橋梁保守事業  
4667万円

下水道事業会計補助金  
△1484万円

町営住宅管理事業

△1498万円 など

・消防費 780万円の減  
西胆振行政事務組合負担金  
△2645万円

災害対策事業(災害備蓄品等購入他) 1865万円 など

・教育費 1545万円の減  
教育推進事業  
△427万円

教員住宅維持管理事業  
△287万円  
給食センター運営事業  
△152万円 など

・給与費 4420万円の減  
・予備費 1769万円の減  
一般会計繰越明許費

プレミアム地域通貨発行事業  
4153万円  
西胆振行政事務組合負担金  
2772万円 など

○国民健康保険特別会計補正予算

9810万円の減額

○介護保険特別会計補正予算

6225万円の減額

○後期高齢者医療特別会計補正予算

319万円の減額  
※3 特別会計補正予算につ

いては、各事業の決算見込による補正

○水道事業会計補正予算

収益的収入支出それぞれ決算見込による650万円の減

○簡易水道事業会計補正予算

消費税支払額の確定に伴う補正  
○公共下水道事業会計補正予算  
収益的収入支出 それぞれ決算見込による1070万円の減

資本的収入 建設改良費の減に伴う補正  
資本的支出 公共下水道ストックマネジメント実施計画策定業務及び内水浸水想定区域策定業務等の執行残による減額補正など

意見書(案)

○国立・公立・公的医療機関の機能強化を求める意見書(案)

賛成少数のため否決

# 予算審査特別委員会報告

令和7年度各会計予算は、予算審査特別委員会を設置して、3月10日から12日の3日間で審査を行い、全会計とも原案のとおり可決しました。

## 令和7年度各会計予算総額

(単位:千円、%)

| 会 計 名                  | 令和7年度予算    | 令和6年度予算    | 比較増減    | 増減比   |
|------------------------|------------|------------|---------|-------|
| 一 般 会 計                | 8,294,000  | 7,882,000  | 412,000 | 5.2   |
| 国民健康保険特別会計             | 1,200,700  | 1,218,583  | △17,883 | △ 1.5 |
| 介護保険特別会計               | 1,301,500  | 1,299,713  | 1,787   | 0.1   |
| 後期高齢者医療特別会計            | 201,310    | 198,378    | 2,932   | 1.5   |
| 小 計                    | 10,997,510 | 10,598,674 | 398,836 | 3.8   |
| 水道事業会計<br>収 益 的 収 支    | 294,207    | 311,882    | △17,675 | △ 5.7 |
| 水道事業会計<br>資 本 的 収 支    | 275,595    | 193,494    | 82,101  | 42.4  |
| 簡易水道事業会計<br>収 益 的 収 支  | 89,626     | 88,176     | 1,450   | 1.6   |
| 簡易水道事業会計<br>資 本 的 収 支  | 105,369    | 73,343     | 32,026  | 43.7  |
| 公共下水道事業会計<br>収 益 的 収 支 | 678,978    | 593,433    | 85,545  | 14.4  |
| 公共下水道事業会計<br>資 本 的 収 支 | 436,007    | 403,034    | 32,973  | 8.2   |
| 総 計                    | 12,877,292 | 12,262,036 | 615,256 | 5.0   |



# 住民第一の行政サービス向上を!

大久保 富士子 (公明党)

## 質問 1

带状疱疹ワクチン接種の助成について

**問** 带状疱疹ワクチン接種は今年4月から定期接種化の国の方針が決められました現在の検討状況について伺う

**答** 定期接種者と定められませんが対象者は、六十五歳の方に加えまして、六十五歳を超える方で5年間の経過措置といたしまして、5歳年齢ごと、加えて百歳以上の方は皆さんが対象として実施します4月中をめどに通知を行います。そして、可能な限りわかりやすく丁寧な周知に努めて参ります。

**問** 対象年齢の罹患率が高くなる五十歳以上の人など町独自の助成対象年齢の拡充について伺う。

**答** 国において定期接種として位置づけていない任意接種の取扱いとなるもので、現段階では、年齢を拡充しての町独自の助成については、

困難であると考えています。

## 質問 2

空き地などの環境整備について

**問** 環境整備の実施に伴い担当課に寄せられている問い合わせについて伺う。

**答** 町道などの草刈りや毒蛾の幼虫駆除などの依頼、そのほか、空き地となつている私有地の草が伸びていて、所有者に連絡をしてほしいとの問い合わせがあります。

**問** 私有地の環境整備に対する課題や問題点について伺う。

**答** 私有地の草刈りのことですが、町民から問い合わせがきた時には、所有者に連絡しますが、遠方であることや高齢などの理由から放置される場合もあり、私有地の環境整備が現在のところ課題となっております。

**問** 防犯面や衛生面においても将来的に社会的な問題にもなりかねない、私有地の環境整備全般について伺う。

**答** 今後は第三者の支援制度を構築できないか。また私有地所有者と第三者の支援者の橋渡しができないか、現実的な対応について、今後は研究していきます。



## 質問 3

とうやコイン(地域通貨)の進捗状況について伺う

**問** 住民の方が登録、事業者の方が加盟登録することによるメリットなどについて聞く。

**答** 事業者においては住民がためた、とうやコインのポイント利用として選択していただくことで、まず売上げが見込まれます。決済手数料

はかからないことで導入しやすい仕組みになっています。住民の方には、施設来場コインや町のイベント参加などの活動による参加コインが付与されてコインがたまり、町内でお買い物に利用ができますコインをためる活動により高齢者の外出の機会が増え、健康的な生活を支えることを目的としています。また、キャッシュレス決済で、紙の商品券のように、持ち運びが不要となり、1円単位でも使用ができ、会計の時間の短縮も期待されます。



# 地域特性を活かした まちづくりへ！

室 田 崇 行 (風の会)



## 質問 1

地域特性を活かした  
まちづくりについて

**問** 洞爺湖町には自然・海・火山・湖・文化・食では水産農業など観光資源が豊富にあると思う。これらの資源を生かして町全体の価値を高めていき、洗練された町にしたいけるのではないかと思うが。

**答** 当町は火山活動によってつくりあげられました自然や景観、そして先人が築き上げてきた歴史・文化により観光で訪れた多くのお客様に喜ばれている地域です。一方で、活かし切れていない財産もあります。いま一度掘り起こしを行いながら、この厳しい財政状況の中でも取り組んでいけるものとして、既存の観光資源を活用した観光誘致に力を注いでいきたいと考えています。水産資源については、漁獲量・漁獲高が一番多いのがホタテ貝です。ふるさと納税の返礼品としても活用

されています。令和5年度におけるホタテ関連の返礼品の実績といたしましては、寄附額全体の約10%となる246万2000円となっております。ホタテ貝はまちづくりの土台を支えている重要な特産品であるというふうに理解しています。農業の関係についてはサツマイモの規格外商品を活用して、ペーストの試作製造も行っています。酪農学園大学の協力をいただき、食味分析を活用したうまみ成分の数値化を図る取組を実施する予定です。品質を保った原料を地元の企業へ紹介して、ふるさと納税の返礼品になり得るような特産品の製造を進めていきたいと考えています。

**問** 交流人口、関係人口の創出、拡大について伺う。

**答** 人口減少を見据えた将来の洞爺湖町の持続可能なまちづくりを進めるためには交流人口、関係人口の創出、拡大、これをいかにして図るかが大きな鍵になると考えています。関係人口の拡大には大学や企業との結びつき、産

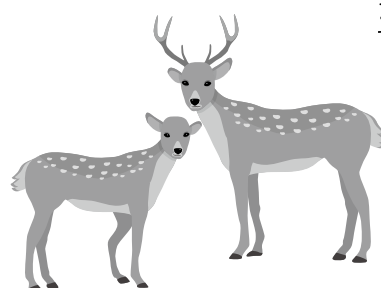
## 質問 2

生物多様性について

**問** 生物多様性の増進活動について伺う。

**答** 洞爺湖中島管理計画を洞爺湖中島エゾシカ対策協議会におきまして令和3年3月24日に決定して、洞爺湖中島のエゾシカの生息頭数をゼロ頭とし、植生回復に向けたモニタリングを継続しながら森林植生の再生を目指すことを目標と決定されています。洞爺湖にはウグイやヨシノボリなどの在来種や絶滅危惧種のイトイバラモやチトセバイカモなどの希少な水草などが生息しています。2023年

学官金の連携も重要です。洞爺湖町と現在包括連携協定を締結している大学や企業との結びつき、これをさらに深めるための取組、あるいは地域おこし協力隊や地域活性化起業人の活用などもこれからの地域づくりには欠かせない必要人材、関係人口であると捉えております。



**問** ネイチャーポジティブ宣言について町の考えを伺う。

**答** 令和7年度で策定を予定しています生物多様性地域戦略で地域の生物多様性の状況を把握し、そこで目標を設定し、目標を達成するための行動計画を定め、洞爺湖町が目指すべき方向性を明確化した上で宣言することによって町民の理解が得られるものと考えております。

時点で過去に確認された48種の水草が12種に減少し、分布範囲も減少していることが明らかになっていることから、今後の推移を継続して調査するとともに、希少種への対策も進める必要があると考えています。



# 高齢者にもわかる町政を！

今 野 幸 子 (日本共産党)

## 質問 1

洞爺湖町地域通貨

「どうやコイン」について

**問** 経済の循環向上にとうやコインによる見込み消費額と活性化につなげる具体策を伺う。

**答** 1月14日スタートのため6年度は10万、7年度はリフォーム助成券や出産祝い金等で1100万円程、プレミアム付コインでおよそ7000万円程です。コイン協議会を立ちあげ、意見を聞きながら検討していきます。

**問** 施設によってもスマホ登録とカード登録によっても差があり、同じ目的で体育館に行っても、スマホの方は30コイン、カードの方は何もなく疎外感を感じる。公平性について伺う。

**答** 不公平感のないよう、現在両方のタイプにポイントを付与できないかを検討しています。

**問** 多くの商店や企業、住民の参加がなければ、コイ

ンは一部の人だけのものになりかねません。また、高齢者の方は「私とは関係ない」面倒だからなど、先に諦めてしまいう人もいます。周知に対しての具体策を伺う。

**答** 4月からプレミアム付きコインが始まることで、全世帯にチラシを配ります。ここで知るきっかけにしたいので、登録につなげていきます。



## 質問 2

町長就任一周年の評価と今後一年の行政運営について

**問** 町長就任一周年、残すところ一年となる。公約の実行を振り返っての自己評価を伺う。

**答** 公選職にあり、評価は町民が判断することと思

ますが、実現した事は、子育て支援やふるさと納税のブランド強化等での自主財源の獲得。高血圧重症化等の予防事業、特定検診や札幌検診バスツアーなど、また洞青寮や旧教員住宅による外国人労働者の宿泊施設の確保など行ってきました。

**問** 残る未達成事業で挙げられる事業と、それを進めるにあたっての予算は。

**答** 幾つかある中で、各種団体やサークル等の町民活動センター整備や、住民むけ日帰り温泉入浴施設などの整備、介護専用施設の設定を公約に掲げましたが様々な課題により座標に乗り上げています。予算については財源確保ではなく、予算を伴わない形でソフト面の動きの中で、事業を進めていく考えです。

**問** 電子化が進み上手に活用しているが、説明書などさまざまな文章には、横文字ばかりです。高齢者にとっては言葉が分からなく理解ができないことが多くなっています

住民に政策の内容が理解されなければ住みづらさを感じてしまう。住民への周知と高齢者にも理解を得られる町政の取り組みについて伺う。

**答** 洞爺湖町の高齢化率は、43%を超えているなかで高齢化対策はしっかりと対応していかなければなりません。特に、総務省は、横文字に対して非常に厳しく、いろいろな方から言われています。できるだけわかりやすく併記して丁寧に進めていきます。



# 住民の命と安全、憲法で保障された プライバシー権優先の町政を！

小林 真奈美 (日本共産党)



## 質問 1

### 洞爺湖町の災害対策について

- 問** 昨年12月に政府は能登半島地震を踏まえ、避難所の運営指針を改定し、スフィア基準(※1)を採用している能登半島地震を踏まえた避難所運営について、女性やLGBTQ、障がい者への配慮、段ボールベッドなど避難所の防災備品の充足率について伺う
- 答** 大規模な地震津波災害においては、トイレと風呂の対応が課題とされており、今後備蓄品の提供を受けるなど、様々な手法を講じてまいります。避難される方のプライバシーへの配慮については必要不可欠であり、整備を進めます。
- 問** 町の防災対策について、今の職員数で対応できる体制か。会計年度任用職員の扱いはまた、町の災害対策本部に携わる女性の人数について伺う。
- 答** 避難所運営に要する人員は不足しており、広域連

携や他自治体からの人員支援を受けることを想定しています。会計年度任用職員については施設の休止などがある場合には他の業務に就いていただくこともあると考えています。災害対策本部に携わる管理職の女性の人数は2、3名ということで把握しています。

## 質問 2

### 自衛隊への名簿提供について

- 問** 避難所となる学校体育館の空調対策について伺う
- 答** 施設自体の老朽化、空調設備の導入経費が高額になることから、公共施設等総合管理計画に基づく維持管理の方針の下、整合を図り、将来を見据えた施設整備を実施しなければならぬと考えています。財源も含めて、体制はどのような方向がいいのか調整はしたいと考えています。移動式冷暖房機による対策を引き続き進めます。
- 問** 名簿提供について、除外申請制度の周知と期間に

ついて伺う。

**答** ホームページについては作業を進めている状況でLINEの周知については検討段階です。周知期間については、4月中旬ないし下旬ごろを予定しています。

**問** 対象者とその保護者への周知方法の改善について郵送する方法について伺う。

**答** 個別の通知については、考えていません。

**問** 名簿提供に係る住民基本台帳と自衛隊法について

**答** 対象者の情報については係る事例、法令等を十分踏まえた上で、引き続き今後においても継続します。

## 質問 3

### 令和7年度教育行政執行方針について

- 問** 子育て支援に学校給食無償化を含めることについて伺う。
- 答** 町独自の無償化や助成の拡大については考えていません。令和7年度当初予

算に小中学生1食100円の助成を上程しているところで、物価高騰により、年度途中での対応も考えていかなければならないと考えています。

**問** 小中一貫教育の導入について、具体的にいつごろを目途にスタートさせるのか伺う。

**答** 町内のすべての小中学校制度の導入に向けて、時限を定めて進めていきます。今後アンケート調査結果等を踏まえながら、子どもの学びに主眼を置き導入の取組を進めていきます。

**問** 町立学校トイレの洋式化について伺う。

**答** 児童生徒の安全に係る施設や設備の修繕の実施は必要であり、トイレの洋式化率は、令和7年度末には約70%程度と見込み、今後も進めていきます。

※1 災害や紛争の被災者が尊厳ある生活を営むための人道支援活動における最低基準のこと。



# 持続可能な町にするには 基盤となる経済力が必須

五十嵐 篤 雄 (有志会)

## 質問 1

所得水準の向上について

**問** 持続可能な町づくりが重要と執行方針で述べているが、持続可能にするためには、何が必要で何が重要と思うのか。

**答** 地域の特性を最大限に活用しながら、住民一人一人が幸せを実感し次の世代まで住み続けられる町を目指しています。住環境の改善、地域活性化、地域課題の解決に取組み生活の質を向上することが重要と認識しています。

**問** この町の生活水準、暮らしの経済力をどう理解しているか。厳しい状況の原因要因はなにか。解決策は何か

**答** 所得水準について、当町の平均年収は約286万円、全道で179自治体中149番目となっています。全国の平均給与所得は460万円、これを下回る5業種の内、当町では3業種が該当することから給与水準の低い業

種が集中しているといえます。地域経済活性化の好循環を生み出し持続可能な町づくりに継続的に取組むことが住民の所得水準の向上に向けた重要課題と認識しています。

## 質問 2

地域通貨の  
とうやコインについて

**問** 普及する、理解してもらうことで、説明会を開催し住民周知に努力されているが、参加者の反応や意見は。

**答** 高齢者の方のスマートフォンでの差の解消などの意見がありました。問い合わせや窓口での加入手続きが増えてきていると実感しています。

**問** 施策を推進する上で補完的手段として活用するとしたら具体的にどのようなことがあるのか。

**答** 課をまたいで横断的に推進するために、検討会を立ち上げました。町民の皆様がとうやコイン

を通じて行政との関わりを今以上に実感していただけるように、積極的に参加してもらう事業展開を考えています。

## 質問 3

洞爺美術館の  
有効活用について

**問** 所蔵品の管理上の課題について解決策は。課題として残っているのであれば、芸術館そのものを移転させるとか、木製品だけを別館にする方法はどうか。

**答** 木彫作品に害虫の発生が確認され、発生箇所を特定し修繕をしました。また、薬剤噴霧を続け、エアコンの設置で温湿度管理が可能となったことから、芸術館の移転や作品の移転はせず、現在の場所で行える限りの対策を講じたいと考えています。

**問** ビエンナーレを開催することで芸術館の活動が集中することや所蔵品を増やせることから前向きに検討しては。また、過去に応募された

作家へのアンケートや意見を聴取しては。

**答** 所蔵作品の作家の調査を行い、作家に焦点を当てた事業展開することを考えています。ビエンナーレの再開については、今後検討委員会でのご意見を基に管理、運営活用などの方針をまとめ問題解決に向けた取組みを進めたいと考えています。



洞爺湖芸術館

# 皆で創造ろう洞爺湖町！

## 石川 諭



### 質問 1

#### 移住定住対策について

**問** 移住定住対策の支援策を伺う。

**答** 一点目は洞爺湖町住まいの中古住宅取得支援事業で、町内において中古住宅を取得する際、最大50万円まで補助を受けられる事業となっております。2点目はチャレンジショップ事業で、新築店舗や空き家、空き店舗を活用して小売業、サービス業、飲食業を始めようとする方を支援する制度で、新築改装費備品購入費、家賃補助費等上限はありますが、それぞれ補助を受けられる制度です。3点目は町のホームページで空き家や空地情報を公開して、物件所有者と移住定住を検討されている方とをマッチングする事業として、空き家バンクの3点があります。

### 質問 2

#### 洞爺湖町の行財政改革について

**問** 令和6年度の財政調整基金の残高を伺う。

**答** 令和6年度につきましては、当初予算で2億円の財政調整基金を繰り入れして予算編成しましたが、令和6年度の途中に国から人事院勧告に給与費増とか物価高騰に対応するための臨時経済対策費として7000万円が追加交付されたこと、町税の決算見込みによる歳入の増と各事業の決算見込みによる歳出不用額を3月の補助予算案で計上、これらを財政調整基金に繰り戻し、令和6年度末の残高については13億2700万円程になると見込んでいます。

**問** 1億円を財政調整基金に積み立てていけば、町の財政は良くなると思うがいかがか。

**答** 洞爺湖町中期財政計画の目標保有額を維持している

### 質問 3

#### 洞爺湖町のインフラ整備について

**問** 上下水道の老朽化の状況と、特に緊急を要する箇所はあるのか伺う。

**答** 水道管については耐用年数が40年を経過した管が蛇田地区で約34km、洞爺地区では約11kmの老朽管があります。水道事業では水道管の安全のため、毎年漏水調査を2回、6月と9月に調査しており、夜間に路面音調査によって漏水箇所を発見し、大きな

ですがこの積み増しも町税確定による歳入増、国の臨時経済対策費の追加交付であったり、各事業の決算確定による歳出不用額を財調に繰り戻し積み立てしていることで、これ自身はやはり職員の努力と不確実性のなかでできたことです。今後の人口減少、税収や交付税の減も予想されることから、1億円を毎年積み立てるといいうのは大変厳しいと思っています。

漏水事故を未然に防いでいます。下水道管については耐用年数である50年を経過した管が約2kmある現状です。50年を経過した管については、目視による点検を行っており、さすが、異常は無いことから、下水道管の布設替えの予定はありません。上下水道施設において直ちに緊急を要する重大な損傷や異常は確認されていませんが、路面等に異常が起きた時には速やかに対応できる体制を整えることが大切と認識しています。





# “高めよう防災意識”

越前谷 邦 夫 (令和会)

## 質問 1

### 防災対策について

**問** 未曾有の災害が発生している昨今、洞爺湖町のグランドデザインは防災力を高める気運が重要である。災害に強いまちづくりの推進の基本を問う。噴火災害・土砂災害では危険箇所92か所、日本海溝・千島海溝等が想定される。様々な形で襲ってくる災害に的確に対処できる危機管理体制の構築・強化を図って防災・減災に向けた不断の取り組みが求められる。とりわけ津波対策を重点に置いた質問になる。災害対策基本法に基づいて防災計画が定められている。命の尊厳・人の尊厳、誰一人取り残さない防災・周知として住民も日常において防災意識を高め、自助の精神で避難用具等整えておくことが事前準備として必要ではないか。

**答** 日頃から地域の方々に対し、講話を通じて防災意識の高揚、避難訓練等事前準備が重要かと思っております。防災意識を拡充・拡大を図るためにも防災士の習得に対し奨励を図っては。

**問** 洞爺湖町内に現在15名ほどの有資格者がおり、費用約7万円は自己負担で習得しております。

**答** 防災士取得は財政的に無理ならば北海道地域防災マスター習得には費用がかからない、拡充・拡大図るべきと思うが。

**問** 北海道地域防災マスターは現在45名ほど取得しており、内18名が職員です。意識向上のためにも北海道地域防災マスターを先に習得できるように取り組んで参ります。

**問** 日本海溝・千島海溝地震で大津波が想定されている。洞爺湖町の各地の海拔はあぶたふれ合いセンター3・5m、本町保育所3m、役場庁舎9・5m、消防庁舎3・5m、北海道の公表の数値で洞爺湖町の最大の津波高7・7mです。

**問** 真冬に地震が起きた場合の避難者数と収容能力は

**答** 虻田地区の避難者数は約1800人で全町6000人ほどの収容能力です。

**問** 津波浸水想定区域内での要支援者は何名か、その対策は。

**答** 要支援者は現在19名です。対策として津波が発生した場合時間約66分ほどありますので、必ず高台に上がってもらおう仕組みが構築されています。

**問** 字は小さい、見づらい、ハザードマップの改定を求めるが。

**答** 現在、全体的なハザードマップの全面改定を検討しているところです。

**問** 防災訓練をおこなう場合子供も対象とした訓練をおこなうべきと思うが。

**答** 防災・減災中で意識を養っていくことは大変大事だと思えます。総合教育会議に提案させていただきます。

**問** 障害のある避難者に対する、上靴や杖などの備品玄関やトイレの位置などを踏まえた配置の検討、また女性用生理用品やショーツなどの

**答** 会議・行政一体となつて早期完成に向け努力させていただきます。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 工事期間、15年は長過ぎるが。

**答** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

## 質問 2

### 海岸通り線の整備計画について

**問** 平成28年の台風10号による海浜地・海岸通り線は甚大なる被害を受けた。前町長は室蘭開港期成会や北海道に対し護岸整備を勢力的に要望してきた結果全額北海道負担で整備事業する方向で予備調査に着手した。計画通り令和8・9年に事業着手になるのか。

**答** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

**問** 令和7年度実施設計、令和8年度から21年度まで15年間の工事期間、総事業費20億円になります。

# 常任委員会 活動レポート

## 経済常任委員会

### ●調査事項1

洞爺湖温泉観光協会の現況と課題について

### ●調査日

令和7年2月18日（火）

### ●調査結果

洞爺湖温泉の宿泊客数は、令和5年度が62万3千人、令和6年度は12月末現在48万4千人で、令和4年10月コロナウイルス感染症に関する訪日外国人の水際対策の緩和等により、インバウンド観光客の割合が増加しています。洞爺湖温泉観光協会では、観光庁はじめとした様々な国や道の補助金を活用しながら冬花火やSNSを活用した情報発信、またサマーフェスタやTOYAKOMANGAアニメフェスタなど、町内で大きなイベントを実施しているところですが、これら事業に係る財源の確保が大きな課題となっており、今後の観光振興、経済対策に鑑み、引き続き行政による積極的な支援が必要となっています。

また、その他の課題として労働者不足やオーバーツーリズムなどの問題が上げられています。これら課題は当町に限定されたものではありませんが、特に訪日外国人による交通マナー等のトラブルなど町民の安心安全の確保のための「防犯カメラ」の設置や注意喚起等の看板の設置について、町として関係団体の意見を

を確認しながら設置に向けた協議検討を進めていただきたい。

厳しい財政状況の中で、更なる観光振興事業やインフラ整備、また今後の有珠山噴火災害を見据え、持続的な観光財源の確保が必要であることから、北海道が進めている宿泊税導入の実施時期と合わせ洞爺湖町宿泊税の導入について、関係機関、関係団体による協議会等を設置し具体的な使途、施策を含め協議された



洞爺湖温泉観光協会

### ●調査事項2

洞爺湖町商工会の現況と課題について

### ●調査日

### ●調査結果

令和7年2月18日（火）

調査結果  
現会員数は、令和7年1月1日現在で305名、昨年度の加入者19名、脱会者23名となっています。脱会者の要因は、廃業及び法人の解散などが主な要因となっています。

洞爺湖町商工会の主な取組で「住宅等リフォーム・住環境整備支援事業」の継続実施により、6年度は103件の申請を受理、全体で965万円の商品券の発行実績となっています。それに伴う工事金額については1億1892万円で、1件あたりの平均で約115万円の工事金額となっています。申請件数については、5年度と比較し7件の減で、資材価格の高騰により全体の工事費が上がったことが主な要因であると分析されています。また「新型コロナウイルス感染症対応融資利子補



洞爺湖町商工会

給事業」では、5年度と比較し5件増の63件、利子補給額として395万円となっています。さらには、昨年8月上旬「にぎわいまつり&2024ビアガーデン」が開催され、11軒の店により約3000人が来場し、これらの事業実施により地域の賑わいと活性化が図られました。商工会は町内事業者の振興発展及び相談窓口としての役割を担い、地域経済の発展に大きく寄与され、これらの活性化事業をはじめとして、今

後の新たな取組みとして検討される働き手不足の解消と移住定住対策事業など、引き続き行政による積極的な支援が必要と思われます。

また、小規模事業者への物価高騰対策をはじめとした商工会からの要望や、洞爺湖温泉観光協会同様、訪日外国人の増加に伴う洞爺湖駅周辺の「防犯カメラ」の設置についても、町民の安心安全の確保のため、速やかに協議検討を進めていただきたい。

### ●調査事項3

#### いぶり噴火湾漁業協同組合

#### 現況と課題について

##### ●調査日

令和7年2月18日（火）

##### ●調査結果

令和6年4月1日現在の虻田地区の組合員数は41名となっています。5年度の虻田地区の水揚量は、鮮魚類で38トン、貝類で3102トン、全体で3140トン（前年比△721トン）で、前年度と比較し大幅な減となっています。水揚金額についても、鮮魚

類で4506万円、貝類で50716万円、全体で55429万円（前年比△73185万円）で、水揚量と比例し大幅な減となっています。

その要因は、アルプス処理水の海洋放出の風評被害等の影響に伴う単価の下落、また海水温の変動、貝毒の影響等によるものが主な要因となっています。

水揚げの多くを占める「養殖ほたて」の水揚量については、平成28年頃よりへい死の割合が増加し徐々に回復傾向に向かっていました。再び5年度で水揚量が落ち込んだ状況となっています。

今年の水揚量は、組合員の努力により概ね維持され、現時点においては貝毒の毒性もなく、この時期が出荷最盛期で、海外への輸出も両貝冷凍などにより単価自体が良好な状況となっています。水揚時のホタテに付着している「貽貝」が例年に類を見ないくらい多く、その量は水揚量の約5倍近くに上り、その貽貝（ゴミ）の一時保管場所や

海の華の処理能力の問題などによって、それらを処理しきれないことから、止むを得ず出荷制限も視野に入れて検討していかなければならないという状況となっています。この問題に対し、漁業者の不安を少しでも取り除いていただけるよう、当組合に対する様々な支援を模索し対策に取り組んでいただきたい。



## 質問などは要約されています

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた読書の家、洞爺総合センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。

**お問い合わせ 議会事務局 TEL0142-74-3011**

# 議会の動き

## 2 月

- 17日 総務常任委員会
- 18日 経常任委員会
- 19日 会派代表者会議  
全員協議会
- 25日 例月出納検査
- 26日 議会運営委員会

## 3 月

- 5日～13日  
令和7年3月会議
- 5日 議会運営委員会  
議会広報常任委員会
- 10日～12日  
予算審査特別委員会
- 11日 議会運営委員会
- 25日 例月出納検査

## 4 月

- 11日 会派代表者会議
- 15日 議会広報常任委員会
- 22日 議会広報常任委員会
- 24日 例月出納検査

## 来年3月までの定例日

- 令和7年6月会議  
令和7年6月16日から
- 令和7年 9月会議  
令和7年9月10日から
- 令和7年12月会議  
令和7年12月10日から
- 令和8年 3月会議  
令和8年3月5日から  
開催予定です。

## ～議会を傍聴してみませんか？～

議会は、洞爺湖町のまちづくりや、生活に直結する重要な問題が審議されていて、どなたでも傍聴できます。

みなさんが選んだ議員が、どのような要望や意見を述べているのか、目の前で見るすることができます。

町政を身近に感じるために議会を傍聴してはいかがでしょうか？

傍聴の手続は、傍聴席の入口で「傍聴人受付票」に記入後、受付箱に投函しご入場ください。

## 編集後記

今年は雪が少なく除雪作業で腰を痛める方々が、少なかつたであろうと思われます。4月に入り草花が成長し始める時ですね。

この間広報担当になって、表現する力、物事の考え意見を発信する力、それを人々に伝えていく力など、数多くの事を学ばせて戴きました。私自身は未だ、まだまだ未熟では有りますが、今後も私達広報担当は、分かり易い広報紙に努めて参ります。更に、皆で洞爺湖町の発展・繁栄を目指して、力のかぎり頑張つて参る所存であります。令和7年度は、町民の皆様にとって、実り多き良き年でありますようお祈り申し上げます。

(石川 諭)